

平成23年度 よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん!

プログラム **13**

～粟生小学校4年生とともに～

「車いすバスケットボールチームの皆さんのお話を聞き、交流しよう!」

3月7日(木) 10時35分～12時15分
粟生小学校体育館において54名(児童46名、学校教員4名、一般参加者4名)の参加のもと開催されました。

日	月	火	水	木	金	土
					3/1	3/2
3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9
3/10						

内容

粟生小学校4年生が取り組んでいる福祉学習の機会として、働きながらバスケットボールを楽しんでいる車いすバスケットチーム「Jamaney(ジャマネ)石川(金沢市)」(県内唯一のチーム)より4名に来ていただき「輝いて生きる」をテーマに事故により車いす生活にいったことから、仲間に支えられて立ち直れたことや車いすバスケットとの出会いなどのお話を聞きました。また、実際に車いすバスケットボールの練習も見ていただき、一緒にバスケットボールの簡単な練習をした後、6グループに分かれてミニゲームを体験しました。

まとめ

「Jamaney 石川」の方の「事故直後は落ち込んだが、お見舞いに来てくれた多くの友達が普段と変わらなく接してくれ、生きる勇気をくれたこと」や「車いすでもできることがないかと車いすバスケットをやろうと決心したこと」のお話を聞き、明るく話される一言一言が皆の心に残る言葉となりました。そして、障害があってもなくても一生懸命生きることの大切さと友達を大切にしてほしいと児童にメッセージが伝えられました。

児童の感想

- ・車いすに乗ってみて、車いすの人の苦勞がわかった。
- ・車いすバスケットボールをして楽しかった。

一般参加者の感想

- ・子どもがとても楽しそうでした。めったにできない体験だったと思います。
- ・楽しみながら車いすの方の苦勞がわかったのでは・・・



車いすに乗って練習!



児童からの質問にわかりやすく教えてくれました。